

## 競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2017年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項によって運営する。第162条に基づき一度の不正スタートでもその競技者は失格となる。混成競技においては各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者はすべて失格とする。
2. トラック競技の予選で、決勝に進出する資格を得る競技者は、着順またはタイムによって決定する。同タイムによって決勝進出競技者が、規定人数を越える場合は抽選で決定する。(タイムは1/1000秒差までを確認する)  
また、次の種目は着順どりとする。800mの1年女子と2・3年女子は12名、共通男子は8名。1年、2年男子1500mは15名とする。  
共通女子1500mと共通男子3000mはタイム予選とする。共通女子1500mは15名、共通男子3000mは18名がタイムにより決勝に進出する資格を得るものとする。また、3年男子1500mはタイム決勝とする。
3. A、B決勝を行う種目について、A決勝レースのみを8位入賞の対象とする。
4. 本競技場は全天候型なので、競技に使用するスパイクピンは全天候型のものとし、9mm以下のものを使用すること。(走高跳は12mm以下とする。)
5. ハードルの高さおよびインターバル、砲丸の重さは次のとおりとする。  
男子110mH 高さ 91.4cm インターバル 9.14m  
女子100mH 高さ 76.2cm インターバル 8.00m  
男子砲丸投(5.0kg) 男子四種競技砲丸投(4.0kg)  
女子砲丸投(2.721kg) 女子四種競技砲丸投(2.721kg)
6. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。女子走幅跳の予選通過記録は、5m45とする。なお、決勝は12名で行う。  
共通男子走高跳 1m50-55-60-65-70-73…以後3cmずつ(練習は1m50と1m60)  
共通男子四種競技 1m30-35-40-45-50-55…以後3cmずつ(練習は1m30と1m40)  
共通女子走高跳 1m30-35-40-45-48…以後3cmずつ(練習は1m30と40)  
共通女子四種競技 1m20-25-30-35…以後3cmずつ(練習は1m20と30)  
共通男子棒高跳 2m40-60-80-3m00-20-40…以上10cmずつ
7. 走幅跳は次の距離より計測する。  
男子 5m30, 女子 4m20
8. 砲丸投は次の距離より計測する。  
男子 8m00, 女子 8m00
9. 四種競技の砲丸投の試技は3回までとする。
10. 競技者は、学校名ナンバーカードを胸背部に正しく付けること。(走高跳・走幅跳・棒高跳の選手は、胸部・背部のいずれか一方に着ければよい。)ナンバーカードのない競技者は出場できない。  
トラック競技の腰ナンバー標識は、招集所で受け取り、パンツの右側やや後方に着ける。競技終了後はゴール地点で役員に返却すること。  
共通男子3000m(胸背部)、男女1500mでは(胸部)別ナンバーカードを使用する。競技終了後は、ゴール地点で役員に返却すること。
11. 競技のレーン順、試技順は、プログラムに記載されている順とする。決勝のレーン順は、番組編成の際、本部で行う。
12. 招集について
  - ① 招集は、すべて第4コーナーゲート付近で行う。
  - ② 招集時刻は、プログラムに記載されている通りとする。また、記載されているのはすべて招集完了時刻である。
  - ③ 選手は招集完了時刻10分前までに招集所に集合すること。10分前より点呼を開始する。  
リレーのオーダー用紙提出は予選・決勝ともにルール第170条(11)により、招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出する。提出が遅れた場合は失格となる。なお、エントリーした6名以外の選手が走る場合には、参加申込書のコピーにその選手を赤で○をしてオーダー用紙とともに競技者係に提出する。オーダー用紙は招集場に用意する。
  - ④ 代理人による招集の確認は原則として認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者はあらかじめその旨を本人または代理人が該当の招集開始時刻までに、所定の用紙(同時二種目出場届)に記入し競技者係に提出すること。なお、用紙は招集場に用意する。
  - ⑤ 招集を受けていない競技者は棄権とみなして処理する。招集時刻に遅れた競技者は出場できない。また、招集所には、点呼を受ける競技者以外入らないこと。
  - ⑥ 四種競技出場者も同様に行う。なおフィールド種目は競技開始30分前、トラック競技は競技開始20分前には完了すること。
  - ⑦ 競技を棄権する場合、予選・決勝を問わず棄権届け(陸協指定の用紙)を競技者係に提出すること。用紙は競技運営本部に用意する。
13. 規定外の商標を競技場内に持ち込むことはできない。違反している場合は「商標隠テープ」を貼り処置する。
14. トラック競技のゴール後は、最寄りのゲートより退場すること。また、スタンドから降りての応援・観戦はしないこと。
15. 補助競技場には学校からの練習用具の持ち込みはできない。また、リレーのマークなどもチームで責任もって剥がすこと。
16. 記録の発表は、正面玄関前の掲示板にて掲示・発表する。
17. 表彰は、各種目の8位まで(リレーは3位まで)の入賞者に表彰状を授与するので、競技終了後すみやかに正面ロビーに集合すること。
17. 本大会は、第44回全日本中学校陸上競技選手権大会の標準記録突破指定大会とする。また、男女のリレーについては、本大会の優勝校が全国大会の出場権を得ることができる。
18. 本大会は、第72回国民体育大会広島県予選会を兼ねる。

(参考)

商標についての規則(全中では「競技注意事項」の項に)

(1)競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合は、以下の規定を守ること。

- ①上半身の衣類…製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積 $30\text{cm}^2$ 以内、文字は縦 $4\text{cm}$ 以内、ロゴ全体で縦 $5\text{cm}$ 以内とする。ただし、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名/ロゴ面積は $40\text{cm}^2$ 以内とする。
  - ②下半身の衣類…製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積 $20\text{cm}^2$ 以内の長方形、文字は縦 $4\text{cm}$ 以内のものを1ヶ所とする。
  - ③バッグ…製造会社のロゴは、2ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は $25\text{cm}^2$ 以内のものとする。
  - ④上記に違反した者については、主催者で「商標隠テープ」を貼り処置する。
- (2)競技役員に指摘された場合は、その指示に従う。

全中駅伝では「競技注意事項」「その他」の項に

(7)規定外の商標を競技場内に持ち込むことはできない。

なお、商標の規定については以下の通りとするが、詳細については、競技会における広告および展示物に関する規定を参照すること。

- ① 上半身の衣類(ウォーマー等含む)…文字が高さ $4\text{cm}$ 以内、トータルロゴの高さは $5\text{cm}$ 以内、面積 $40\text{cm}^2$ 以内の長方形
- ② 下半身の衣類 …高さ $4\text{cm}$ 以内、綿製 $20\text{cm}^2$ 以内
- ③ ソックス …高さ $3\text{cm}$ 、面積 $6\text{cm}^2$ 以内
- ④ 個人のバッグ …面積 $25\text{cm}^2$ 以内で、ロゴは2ヶ所までとする。